



一本道

学校教育目標「元気と挑戦で成長を」

西小学校通信No.36

令和7年3月3日

校長 吉田憲一

1 6年生による公民館掃除、卒業前に感謝の気持ちを込めて！

2月14日から始まり、最終日の2月21日までの合計4日間、6年生は、8つのグループに分かれて、自分たちの公民館を、感謝を込めて掃除をするという活動を行いました。これは、家庭科「共に生きる地域の生活」の学習の一環です。



3人の感想の一部を紹介します。

●川越ちほりさん「いつも分館の集まりで使ったり、遊んだりしたことがあったので、これまでの感謝を込めて掃除をしました。かれ葉があったので、それを時間いっぱいみんなで集めたり、草が生えていたのでそれをぬいたりしました。」

●蓑田こうだい君「1・2年生の時に公民館で宿題をする行事や、分館対抗バレーの後に集まって反省会などをしたことがあったので、しっかり恩返しができたので良かったです。大王神社では、たまに遊ぶので、落ち葉を拾って気持ちよくなりました。」

●池邊ひでお君「ラジオ体操で公民館に来ていたので、気持ちを込めて隅々まで窓をふくことができました。人の手の届かないところなので、結構役に立ったと思います。これからも公民館を使うときは大切にしていきたいです。」

2 過去一番素敵な人権集会、子供たちがしっかり考え話し合う学びの場

2月27日、3学期の人権集会を行いました。今まで私が経験した人権集会の中でも一番素敵な人権集会でした。それは、一方方向の集会ではなく、双方向の集会だったからです。特に、「言葉について考えよう」では、人権生活委員が、学校生活の場面を切り取り寸劇をして、二択のクイズにして考えさせました。全校児童約260名が、答えとその理由を考えました。そして、写真のようにマイクを2本使い、テンポよく発表していきました。子供たちが、自分ごととして、しっかり考え、話し合う学びの場となっていました。まさに約260名による人権学習でした。



3 R6年度最後の授業参観、多くの参観ありがとうございました。

2月28日、令和6年度最後の授業参観を行いました。時間の都合をつけていただき、9割を超える保護者の皆様に来校いただきました。「元気と挑戦で成長を」という「同じ方向を向いた教育」のためには、授業している様子を見ていただくこと、つまり学校に足を運んで見てもらうことが一番だと考えています。我が子の学校での姿、クラスの雰囲気、学校全体の雰囲気、担任の先生との連携、他の保護者の方との連携等、多くの得ることがあると思います。これまで「学校の一番の応援団」として、ご支援とご協力、そして大きな応援を、本当にありがとうございました。残りの1カ月も、子供たちの心身の健やかな成長のために、学校と家庭の連携を図っていきましょう。よろしくお願いいたします。